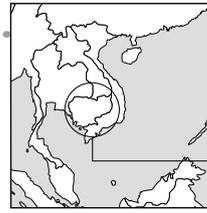


ユニセフ子ども物語

地球に生きる子どものくらし

Cambodia

カンボジア



地図は参考のために掲載したもので、国境の法的地位について何らかの立場を示すものではありません。



困っている家族はどこに？

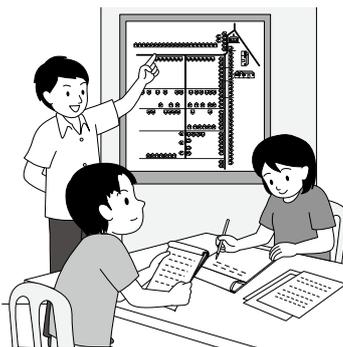
毎日食べていくのがやっと…

7歳のメイくんは、カンボジアのコンボンスプー州にある村でおじいちゃん、お母さん、3歳の弟、1歳の妹と暮らしています。お父さんは、お酒を飲んだりして働かず、半年前に仕事を探しにプノンペンに行きましたが、帰ってきません。お母さんは田植えの仕事をしていますが、収入はごくわずかです。家族の唯一の移動手段だった自転車を売って得たお金でやっとお米を買い、何とか食事にありつけた日もありました。この地域に暮らす多くの人たちは、メイくん一家と同じようにとても貧しい生活を送っています。



困っている家庭を見つけ出す

カンボジアには、いくつかの村が集まったコミュニオンという村の集合体があります。コミュニオン評議会はユニセフからの支援を受けて、地域の女性や子どもたちへのサービスを向上させるために活動を行っています。村の中でどの家庭が出生届を出していないか、トイレが設置されていないか、親がいないか、家族の中に障害を持っている人がいるか、などを地図に描いてあらわします。この地図を元にコミュニオン評議会が会議を開き、どの家庭を対象に支援していくかを決めます。地図があると、もっとも弱



い立場に置かれ、支援を必要としている家庭を早く見つけることができます。

地域に支えられて

地図を使ったコミュニオン評議会の支援のおかげで、メイくんは文房具をもらうことができました。近くの小学校に通うメイくんはうれしくて、もらった文房具を大切に使っています。お母さんのファミリーさんもメイくんの欲しいものを何も買ってあげられず、とても心苦しく思っていたので、感謝の気持ちでいっぱいでした。コミュニオン評議会からの支援で、お母さんは保健センターで助産師さんの介助を受けて無事メイくんの妹を出産しました。出産後、体調がすぐれない時期もありましたが、コミュニオン評議会から治療費を補助してもらい、安心したと言います。しかし、一家の生活はまだ厳しく、子どもたちはいつもお腹を空かせていて、栄養が足りない状態が続いています。



メイくん一家は、親せきの土地を借りて、草木で屋根を覆っただけの家でつましくも仲良く暮らしています。お母さんは子育てと家事、仕事の全部を1人でこなし、毎日忙しくしています。いまは幼い子どもたちがきちんと教育を受け、知識を身につけて、立派な大人へと成長してくれることをお母さんは祈るばかりです。地域に見守られながら、メイくん一家はいつかもっとよい暮らしができることを願い、毎日がんばっています。

<文・構成：(公財) 日本ユニセフ協会>

物語の国 カンボジア

カンボジアは、子どもの数が人口の43%を占め、将来に多くの可能性を秘めています。2012年2月、カンボジアの旧ポルポト政権時代の大量殺を裁く特別法廷で、旧ポル・ポト派に対する判決が初めて確定しました。これまで国連や日本も支援に大きく関わってきたカンボジア特別法廷が今後も早期に進展していくことが望まれています。



©日本ユニセフ協会
サンテピアップ小学校の子どもたち

子どもたちは未来のカンボジアをつくる力

○ ユニセフ支援から地域の自立へ

地方分権化が進むカンボジアで、子どもの最も基本的な権利を守るための「セッコマー（クメール語で「子どもの権利」の意味）事業」をユニセフは支援しています。コミュニン（複数の村の集合体）という約23万人規模の行政区と協力し、幼稚園教育の充実や貧困家庭の子どもたちへの支援を通して、地域の復興、生活の改善へつなげていくことを目指しています。農業国のため、多くのコミュニンでは、内戦からの復興プロセスにおいて道路や運河、灌漑などのインフラ整備に力を入れてきており、社会サービスの向上は重要視されてきませんでした。しかし、ユニセフがカンボジアの内務省と協力して2005年にコミュニンの中に「女性と子どものためのコミュニン委員会」を設置して以降、この活動が次第に全国的に広まり、女性と子どものための事業が地方自治の中で優先課題として取り上げられるようになってきました。

物語の地、コンボンスヴァイ郡コンボンスプー州のドムナクトラック村では、パソコンを使って3ヶ月ごとにマップを更新し、マップをもとにコミュニン評議会が会議を行い、定期的に家庭訪問しています。ひと目で村の脆弱な家庭を把握できるマップは、他のNGOが支援活動する際にも使用されています。現在はユニセフのサポートのもとに実施されていますが、今後はコミュニンが独立して継続的にマッピング活動を行っていくことが期待されています。



©日本ユニセフ協会
支援活動に使われるマップ

○ 地域と一体となった支援活動

ほかに、コミュニン評議会では、ユニセフと協力し、出生登録の推進、水と衛生事業への支援、コミュニティ幼稚園への支援、などを行っています。

■ 子どもの誕生、存在の証

出生登録は、子どもが生まれて一番最初に与えられる最も基本的な権利であり、予防接種、学校入学など子どもの成長過程においても欠かせない手続きです。カンボジア内務省はすべての子どもが出生登録されることを目標としています。コンボンスプー州のモハサンコミュニンでは、役場での出生登録の管理業務を徹底させると共に、女性と子どものためのコミュニン委員会や保健センターと協力して、人々に登録の重要性を訴え、登録の推進に努めています。



©日本ユニセフ協会
コミュニン評議会のメンバーたち

■ 衛生環境を改善する

カンボジアでは安全な水や衛生的なトイレへのアクセスが農村部で特に低く、下痢は子どもの主な死亡原因の一つです。砒素の問題も全国的に深刻で、国内で約220万人が砒素の影響を受けています。ユニセフは政府の砒素除去対策への支援を行っています。また、砒素に汚染された地下水の代替として、送水管による水供給や雨水貯留タンクの使用などをすすめています。農村部では、とりわけ高齢者の方々が屋外排泄の伝統的習慣から抜けきれずにトイレを持たない家庭も多く見られます。ユニセフは、村でのトイレの設置やコミュニティ幼稚園での石鹸を使った手洗いなどの衛生教育を支援しています。

■ 地域が見守るコミュニティ幼稚園

カンボジアでは、小学校の入学率が高いものの進級率が低いため、小学校通学への対策として効果の高い幼稚園教育にユニセフは力を入れています。コミュニティ幼稚園は、ユニセフと協力してコミュニン評議会が始めた幼稚園です。コンボンスプー州のチャムカスレン村にあるコミュニティ幼稚園では、週5日、研修を受けた教師が子どもたちに歌やゲームを教えたり、衛生習慣の指導を行っています。ユニセフは、女性省と協力して場所と人材の確保、教育省と協力して教師への研修を実施しています。コミュニン評議会は、ユニセフの協力で園の修繕費用や催事の際の補助金の支給などで幼稚園の運営を支援しています。また、教師の収入が低いため、村が収穫した米を寄贈するなどして協力しており、コミュニティ幼稚園は地域に密着した幼稚園となっています。



©日本ユニセフ協会
チャムカスレン村のコミュニティ幼稚園

カンボジアの子どもの状況
(より詳しい統計は「世界子供白書2012(英語版)」をご覧ください)

| 項目 | カンボジア | 日本 |
|--|-------------------|----------------------|
| 5歳未満児死亡率(1,000人あたり、2010年) | 51 | 3 |
| 妊産婦死亡率(出生10万人あたり、妊娠関連の原因で死亡する女性の年間人数)(2008年) | 290 | 6 |
| 改善された水源を利用する人の割合(%) (2008年) | 全国 61 都市 81 農村 56 | 全国 100 都市 100 農村 100 |
| 適切な衛生施設を利用する人の割合(%) (2008年) | 全国 29 都市 67 農村 18 | 全国 100 都市 100 農村 100 |
| 国際貧困ライン1日1.25米ドル未満で暮らす人の比率(%) (2000-2009*) | 28 | - |
| 平均余命(2010年) | 63 | 83 |
| 一人あたりの国民総所得(米ドル)(2010年) | 760 | 42150 |

*データは指定されている期間内に入手できた直近の年次のもの。 出典:「世界子供白書2012(英語版)」

カンボジア指定募金のご案内

カンボジアの子どもたちへの支援事業は、日本全国の学校のみならず協力いただく募金によって支えられています。

カンボジア指定募金

郵便局(ゆうちょ銀行)振替口座: **00190-5-31000**

口座名義: **公益財団法人 日本ユニセフ協会**

通信欄に「カンボジア」と記入してください。

*窓口振込みのみ送金手数料免除

カンボジア指定募金資料キット

学習や募金活動資料として、「資料キット」の貸し出しを行っています。カンボジアの子どもたちの生活やユニセフの活動をわかりやすく紹介しています。ぜひご利用ください。

指定募金
資料キット

1. 事業の背景 (CD-ROM含む)
2. ビデオ「My World」
3. 掲示用写真資料11枚
4. 布製保健教育用教材
5. 小学生用教科書(2冊)

貸し出しをご希望の方は、学校事業部へお問い合わせください。

TEL: 03-5789-2014

全国の教職員が参加し、2011年7月に実施されたカンボジアスタディツアーの報告をホームページでご紹介しています。ぜひご覧ください。

URL: http://www.unicef.or.jp/kodomo/lib/study_tour/2011/index.htm